

成人女子のシルエットと服装シルエットの評価

京都女家政 ○岡部和代 山名信子

成安造形短大 山本和枝

目的 年齢によって異なる成人女子のからだつきのシルエットと服装シルエットを組み合わせ、相互のかかわりによるイメージをとらえることで、着装者が服装シルエットにおよぼす影響や、服装シルエットが着装者におよぼす影響について明らかにすることを目的とした。

方法 年代別の特徴をとらえたシルエットの抽出については、第44回大会で報告した。抽出した7つのシルエットを提示資料として、からだつきの異なるシルエットがどのような体型と評価されるかを調査(女子学生234名)した。また、このうちより4つのシルエットについて、服装シルエット(Aライン、Xライン、Hライン、バルーン)と組み合わせた提示資料を作成し、相互のかかわりから得られるイメージをSD法により調査(女子学生366名、母親163名)し評価を得た。

結果 各年齢グループ ①19～24歳 ②25～34歳 ③35～44歳 ④45～54歳 ⑤55～64歳 ⑥65～74歳 ⑦75～82歳 を代表する7つのシルエットを提示した体型の評価は、まず姿勢に注目され、良いから悪いは年齢の若年から老年にと年齢順に評価された。年齢グループ ① ③ ⑤ ⑦を代表するシルエットと服装シルエットを組み合わせたイメージでは、からだつきと服装シルエットとの着装バランスの因子が第一因子として抽出された。Aライン、Xラインは若年に似合うと思われており、老年ではHラインが似合うと思われて、からだつきと服装シルエットは相互に影響を与える評価である。